



平成 29年 新年あけまして おめでとうございます



「実り多く飛躍の年に」

守口市議会議員

澤井 良一

市民の皆様には、ご健勝にて輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、平素は市議会活動に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックにおける日本選手団の活躍や大阪が舞台にもなった大河ドラマ「真田丸」が話題となりました。

一方、4月には熊本、10月には鳥取で大地震が発生し、改めていつどこで起きるかわからない自然災害の恐ろしさと日頃の備えの大切さを再認識させられました。

本市に目を向けますと、市制施行70周年を迎え花火大会やプロジェクションマッピングなど、記念の年にふさわしい様々なイベントが開催され、年間を通して賑やかな年でありました。

さらに、10月末には、念願でありました新庁舎が開庁いたしました。市民の安心安全を支える防災拠点として、市民サービスの向上はもちろんのこと、市民に開かれ親しまれる庁舎を目指しております。また、別館2階には議場、本館9階には委員会室が整備されました。

議場の傍聴席は、一般席の他にどなたでも傍聴ができるよう車いす席や防音の親子席(個室)を新たに設置しておりますので、ぜひ会期中にはお気軽に傍聴にお越しいただきたいと思っております。

市議会といたしましては、今後とも二元代表制の一翼を担う意思決定機関として、地方創生が求められる今、本市の将来をしっかりと見据え、あらゆる世代が輝かしい未来に向かって夢や希望を持ち、心豊かに暮らせる地域社会を目指して、鋭意取り組んでまいり所存でございますので、引き続き変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、酉年の本年が皆様にとりまして、実り多く飛躍の年になりますようお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



「住んでみたい

住み続けたいまち」の実現へ

守口市長

西端 勝樹

市民の皆様にはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は市政各般におきまして、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、ブラジルのリオデジャネイロでオリンピックが開催され、日本は史上最多となる41個のメダルを獲得する快挙を成し遂げました。また、東京工業大学名誉教授である大隅良典氏がノーベル生理学・医学賞を受賞するなど、日本人の世界でのめざましい活躍が国民に元気や勇気を与えてくれました。

本市におきましては、市制施行70周年を迎え、新庁舎開庁式典や花火大会、プロジェクションマッピングの開催など、様々な記念イベントを行い、守口市の魅力を生かして市内外に広く発信できた一年となりました。

さて、昨今の日本経済に目を向けますと、雇用・所得環境の改善が続く中で、国の経済政策など各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いております。

しかしながら、その効果は地方にまで十分に浸透しているとは言えないのが現状でございます。

本市の財政状況におきましても、一般会計の実質収支・単年度収支ともに黒字となったものの、扶助費を始めとする義務的経費の割合は依然として大きく、財政構造は硬直状態にあるため、抜本的な事務事業の見直しや改善を図るとともに、徹底してムダを省くなど、更なる行財政改革を推し進めてまいり所存でございます。

本市といたしましては、こうした行財政改革の成果を市民サービスの充実に還元し、住んでみたい住み続けたいまちの実現に向け、鋭意取り組んでまいりますので、皆様には、より一層の市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、幸多く実りのある一年となりますよう、祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。